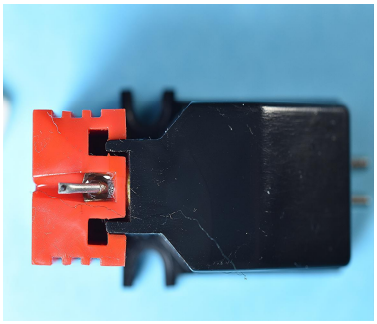
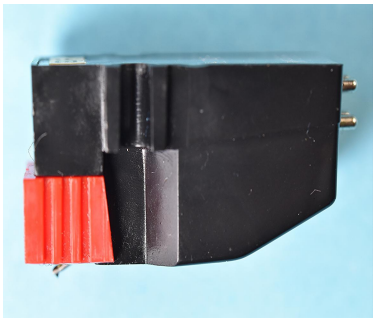
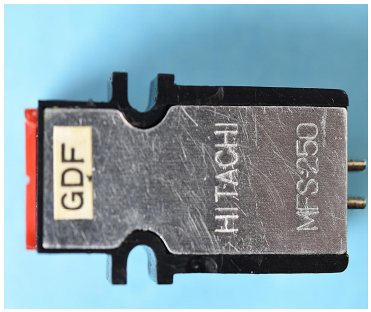
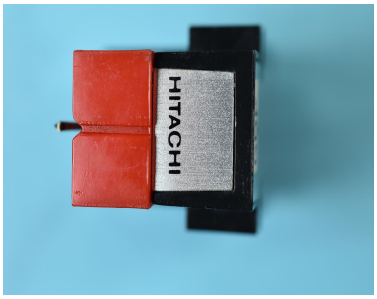
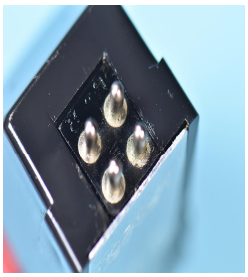
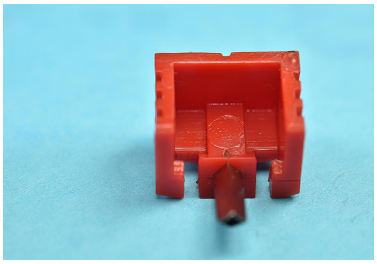
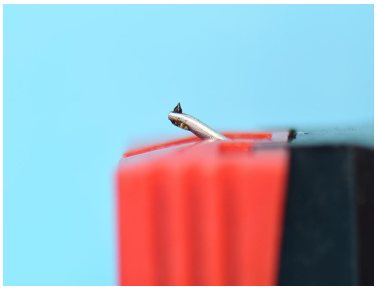
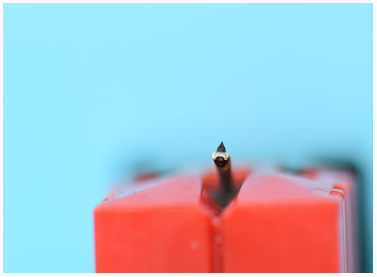
NO:34.1　　形式:MFS-250　ローディ（Lo-D）（株）日立製作所







（レコードプレーヤー PS-12 装着品、交換針 DS-ST25）

① MM、② 20 ～ 20,000　③ 2 - 4.5mV、④ 0.5mil、 ⑤ 7.3（実測）、⑥ 3g、⑦　、⑧　、⑨　、
⑩　、⑪　、⑫　、⑬　、⑭、⑮　、⑯ 1964頃 ⑰　、⑱、⑲　、⑳ '73SG

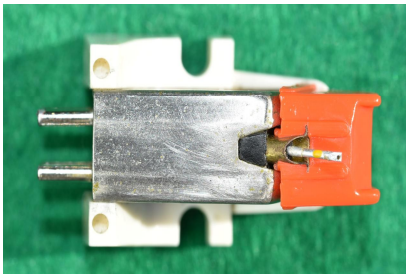
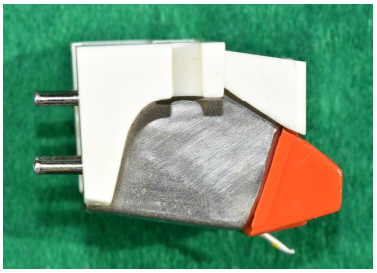
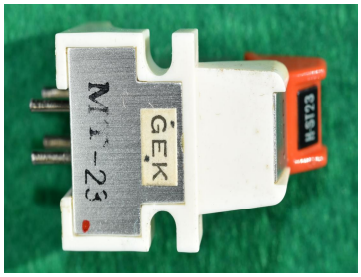
ｺﾒﾝﾄ：この製品はオーディオテクニカ AT-3M、1964.4 発売の OEM 製品のようです（ボデイ形状、外観から）。スタイラスの外観形状はオーディオテクニカと少し異なっていますので純正品かどうか不明です。

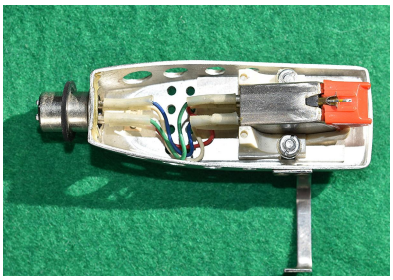
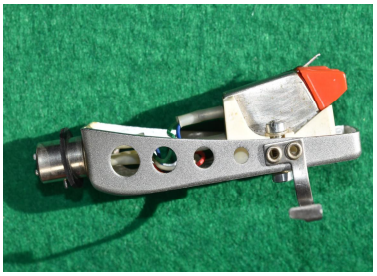
この製品の発売当時の社名は日立(HITACHI)でしたので HITACHI の表示がボデイにあります。

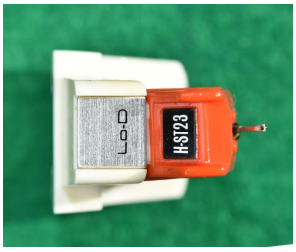
1964 年から 1973 年頃まで発売されていたロングセラー製品ですが、それ以後販売していません。接続端子は通常のものより、小さな 4 ピン端子のようです。

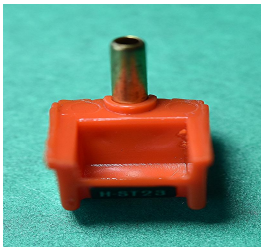
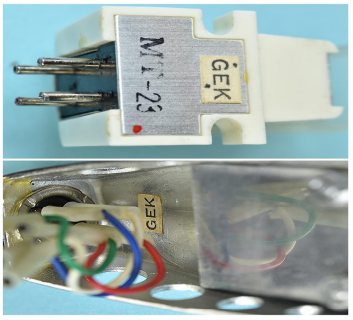
1.5g で試聴したところ高域から低域まで均一な透明感のあるクセのない音です。2.0g では高域が低下しました。

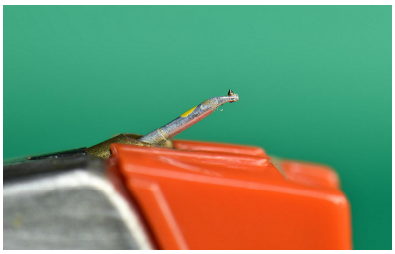
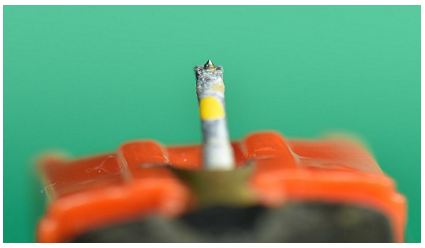
NO:34.2　　形式:　MT-23（HST23）　ローディィ（Lo-D）（株）日立製作所

（Lo-D のﾌﾟﾚｰﾔｰ HT-440 装着ｶｰﾄﾘｯｼﾞを参考）

① MM、② 10 ～ 25,000　、③ 3　、④ 0.5mil、　⑤実測 16.3g（ｼｪﾙ付き）⑥ 2　⑦　、⑧　、⑨　、⑩　、⑪ 20、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯ 1977、⑰、⑱、⑲、⑳ '78SG

コメント：GLANT の OEM 製品で、Lo-D ﾌﾟﾚｰﾔｰ装着品です。
　装着されているｽﾀｲﾗｽ HST23 は楕円かも知れません。カンチレバーに黄色のペンキマークがありますが、裏面にはマーク表示などない。
　類似品としてｽﾀｲﾗｽ DS-ST23（丸針 0.5mil）の MT-23 があります。シェルが黒色、黒色ﾎﾞﾃﾞｲ、黒色スタイラスの製品です。又、同じ DS-ST24 製品としてシェルが白色、白色系ﾎﾞﾃﾞｲ、黒色スタイラス製品もあります。写真の製品のスタイラスはオレンジ色ですから交換品されています。（SG'78 参考記載）
　プレーヤーは 1977 ～ 78 年の 2 年間のみ、短期間販売でした。

　2g で試聴したところ、とても素晴らしい音です。透明感あり、明るい。中高域の素晴らしい、低音の締まりのある音です。

NO:34.3.1　　形式：　MT-24（Black）　ローディィ（Lo-D）（株）日立製作所



（Lo-D のﾌﾟﾚｰﾔｰ,HT-6M,HT-320 装着ｶｰﾄﾘｯｼﾞ）

① MM、② 10 ～ 25,000　、③ 3 、④ 0.5mil、　⑤実測 5.4g（ｼｪﾙ付き 12.7g）⑥ 2 ⑦　、⑧　、⑨　、⑩　、⑪ 25、⑫、⑬、⑭、⑮ 、⑯ 1977、⑰ 、⑱ 、⑲ 、⑳ '78SG

コメント：ステレオガイドの写真には黒シェル、黒ボデイ、黒スタイラスが装着されています。しかしこのｶｰﾄﾘｯｼﾞはシェル色が異なっています。プレーヤー機種の異なる装着品であったと推測します。

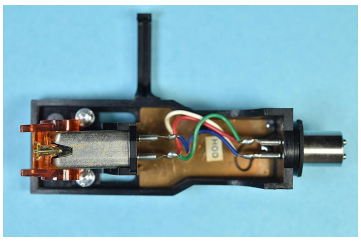
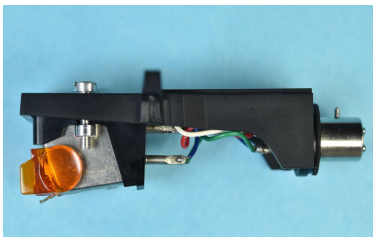
スタイラスの純正品マークは不明ですが、「2」の表示があります。（写真参照）

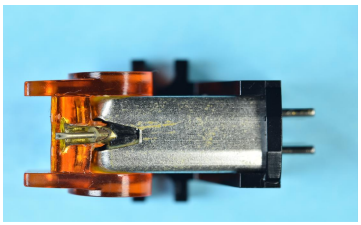
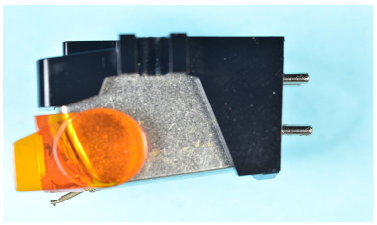
カンチレバーは丸パイプですが。挿入口は角型です。シェルの指掛け位置が後方にあるのも珍しい。

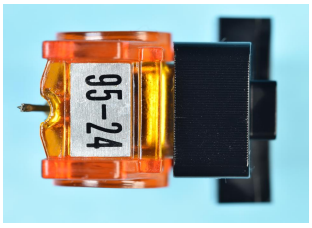
次ページにも MT-24（Orange）を記載しています。ボデイは同じ黒色ですが、ｶｰﾄﾘｯｼﾞ裏面の表示、端子板のアース金属など異なっています。製造年月が違うと性能も異なっているようです。

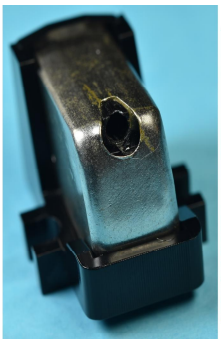
2g で試聴したところ、暖かい、明瞭感、透明感のある聞き易い音です。低域から高域まで周波数バランスのとれた音です。低音は出ていますが、少しツマリ音です。

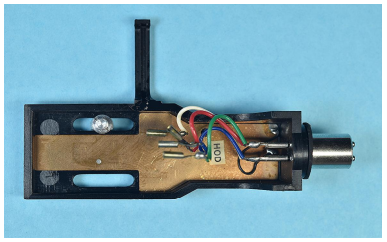
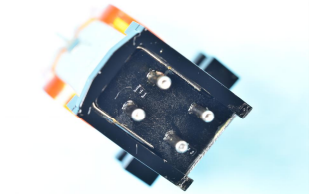
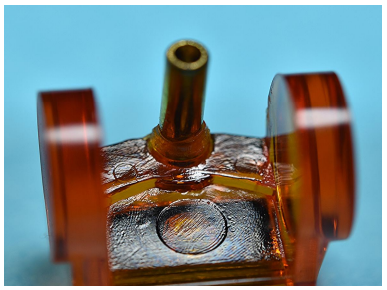
NO:34.3.2　　形式：　MT-23（Orange）　ローディ（Lo-D）（株）日立製作所

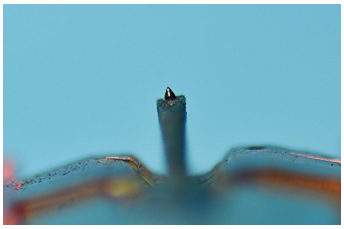







（Lo-D のﾌﾟﾚｰﾔｰ HT-6M,HT-320 装着ｶｰﾄﾘｯｼﾞ）

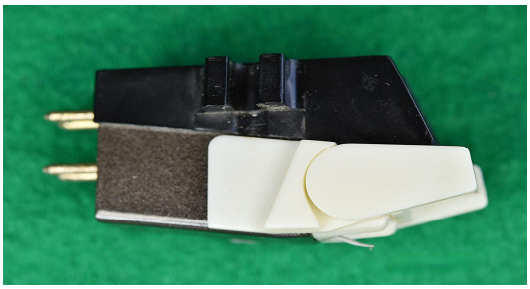
① MM、② 10 ～ 25,000　、③ 5 、④ 0.5mil、 ⑤実測 5.4g（ｼｪﾙ付き 12.3g）⑥ 2 ⑦　、⑧　、⑨　、⑩　、⑪ 25、⑫、⑬、⑭、⑮ 、⑯ 1977、⑰ 、⑱ 、⑲ 、⑳ '78SG

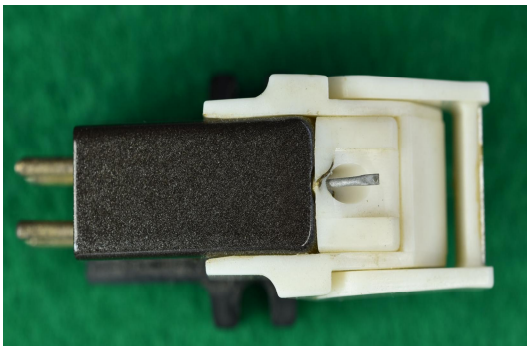
コメント：ステレオガイドでは黒シェル、黒ボデイ、黒スタイラスが装着されています。しかし、このスタイラスの色がオレンジで異なります。ナガオカ製品の「95 － 24」表示がありますので純正品ではありません。交換されています。
　カンチレバーは丸パイプですが。挿入口は角型です。シェルの指掛け位置が後方にあるのも珍しい。
　前ページの黒スタイラス製品より出力電圧が 2 ｍｖ位多い、方位計で磁力をチェックすると 8 度くらい多く振れます。

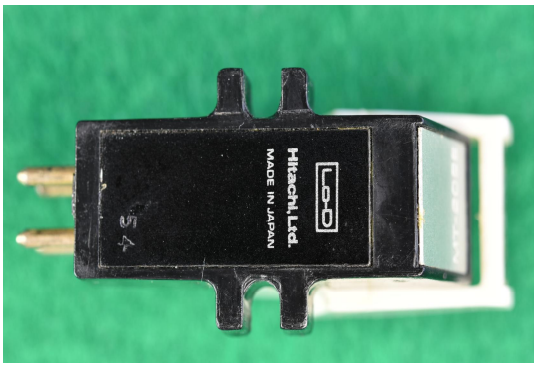
　2g で試聴したところ、明瞭で透明感あり。低音も出ており、ツマリも少なめです。
　　前ページの黒スタイラスと比較すると、音圧は 2 ｍｖ位多大きい。（ボデイの差がないよう針先のみチェンジしてチェックしました。）

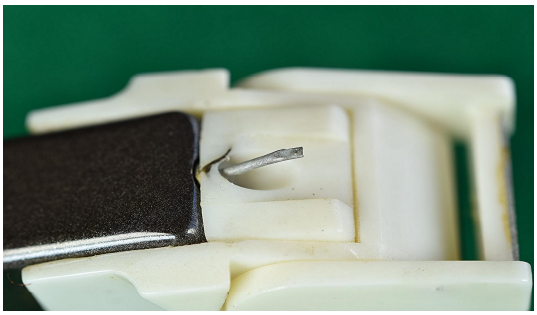
NO:34.4　　形式:　MT-202E　　ローディ（Lo-D）（株）日立製作所

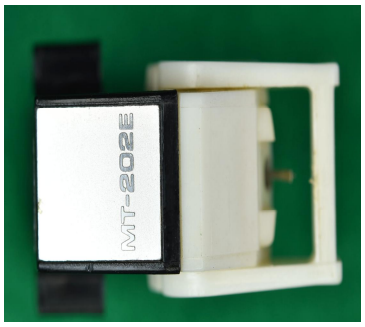




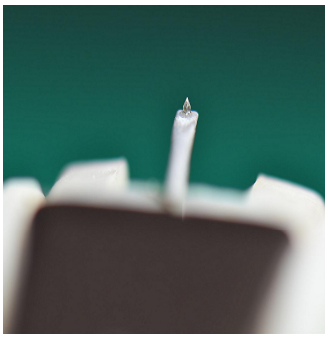


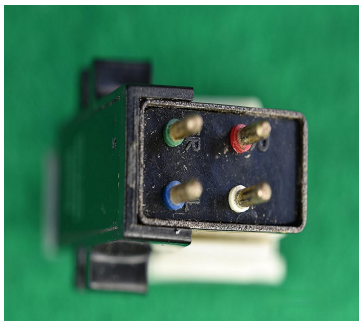












① MM、② 10 ～ 30,000　、③ 3.5mV 、④　0.2 x 0.7mil、　⑤ 8.2、⑥ 0.75 - 1.5、⑦　、⑧ 47　、⑨　、⑩　、⑪ 30　、⑫ 1　、⑬ 14　、⑭、⑮　、⑯ 1975、⑰　、⑱ 33,000、⑲　、⑳ SG'75

ステレオガイド 1975 － 76 に記載されているローディのカートリッジです。1 個のみ販売されていました。写真にアップで掲載しましたが、珍しい製作ミスがカンチレバーの挿入口にあります。ヒゲがあります。ゴミでありません。カンチレバーの筒端に斬りくずが残って着いていました。

試聴したところ明瞭感、透明感は少ないですが、中低音が厚く響いていました。これが当時の好まれた音かも知れません。